同時開催

伊万里染付大皿 初公開



《染付竹虎文大皿》
江戸時代後期

江戸は美味し、楽し、面白し



《染付鶴丸文輪花大皿》江戸時代後期



《染付相撲絵文大皿》江戸時代後期



《染付梅樹文大皿》江戸時代後期

本展では、故・瀬川竹生氏旧蔵の伊万里染付大皿約30枚を当館にて初公開いたします。大皿は、宴会などの場において料理を盛りつけ、食を共にするというハレを彩る器でした。大皿を囲んだ人々は、箸が進むにつれ姿を現す大胆な絵柄や模様に心躍らせていたことでしょう。料理皿に注がれた当時の職人達の熟練した技と熱意には驚嘆せずにはいられません。伝統的な吉祥文様や幾何学模様、相撲取りや華やかな花鳥など、斬新なデザインの数々をお楽しみください。



アクセス

【公共交通機関】
JR東京駅（品川駅始発）から常磐線特急で約75分、水戸駅下車、北口バスターミナル4-7番のりばからバスで約5分「泉町三丁目」下車、横断歩道を渡ってすぐ。

【乗用車】
常磐自動車道水戸ICから約20分または水戸北ICから約15分。
※提携駐車場の詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。

最新情報はこちら／tap-mito.jp

次回展予告

那波多目功一展（仮）
2027年4月24日㈯～ 6月27日㈰予定



開館1周年ありがとう企画

2月14日㊏に、クヴェレ美術館は開館1周年を迎えます。2月14日当日に「niko and ... COFFEE」水戸TAP店をご利用いただいたお客様は、レシートを美術館受付にご提示ください。2月14日に限り、入館料無料でご覧いただけます。

クヴェレ（Quelle）とは
ドイツ語で「泉」を意味します。テツ・アートプラザが建つ「泉町」にちなみ名付けました。湧き出す泉に人々が集い、交流が生まれる場となるようにとの願いを込めています。

水戸芸術館との相互割引のご案内

期間中、各館の半券を受付にご提示いただくと、入館料を200円引きいたします。（1名様につき1回まで。他の割引との併用不可。各種招待券対象外）

【対象企画展】
水戸芸術館：「収蔵作品展 再会 ― 17人のアーティストによる伝言」（11/7 ～ 1/31）、「まことのはな　いまようのはな」（2/27 ～ 5/9）
クヴェレ美術館：「開館記念展II 日本近代洋画とシルクロードの精華」（～ 1/11）、「開館記念展III 棟方志功と清宮質文」（1/23 ～ 4/11）

クヴェレ美術館 開館記念展III Meet 美の交差点

QUELLE Museum of Art opening exhibition III　Meet: The Crossroads of Beauty / Also on View: Large Imari Plates in Underglaze Cobalt Blue

Munakata Shiko and Seimiya Naobumi

棟方志功《風林山房図》1963年



いのちを刻み　版木に詩う

むなかたしこう 棟方志功と清宮質文 せいみやなおぶみ

清宮質文《まだ風の冷たい日》1964年



2027
1/23 sat → 4/11 sun

同時開催
初公開

《染付旅雁文大皿》
江戸時代後期



伊万里染付大皿

［開館時間］10:30 ～ 17:30（入館は17:00まで）
［休館日］月曜日・毎月第2火曜日（祝日の場合は翌平日）
［入館料］一般700円、高校生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および付き添いの方1名は無料
［主催］哲文化創造公益財団法人　［後援］水戸市・水戸市教育委員会

QUELLE MUSEUM of ART クヴェレ美術館

始まりは油絵



清宮質文《習作Ⅰ》制作年不詳

幅3m近くにおよぶ大作！ —— 志功60歳、変幻自在な筆遣い



棟方志功《風林山房図》1963年

詩人のように描き出す —— 「表現形式に『絵』という方法をとっている詩人である」と清宮は語っています



清宮質文《蝶（青）》1963年



清宮質文《深夜の紙燭》1974年

漆黒の肉体 —— 12ヵ月を象徴する女人の舞

棟方志功《砂山の柵》1973年



絶筆のガラス絵 —— 複数ある絶筆のうちのひとつ



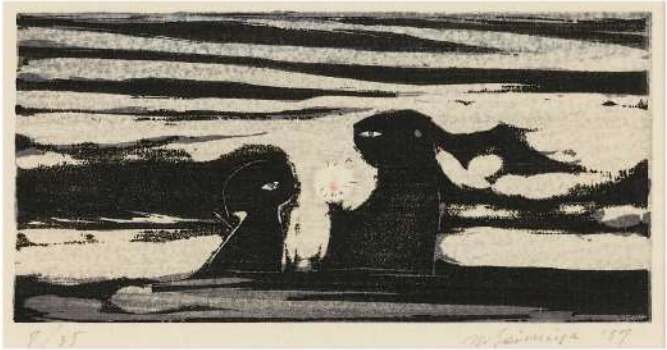
清宮質文《絶筆（未完）》1991年

「ムナカタ」の名を世界に知らしめた代表作



棟方志功《須菩提の柵（二菩薩釈迦十大弟子のうち）》1939年

清宮40歳、初期の版画作品



清宮質文《むかしのはなし》1957年

開館記念展Ⅲ期にあたる本展では、棟方志功（1903-1975）と清宮質文（1917-1991）の作品を展示します。棟方と清宮は、油絵から画業をスタートします。しかし、自身の納得いく表現技法として選び取ったのは、木版画でした。棟方は自然界や信仰心を礎として、動的エネルギーに満ち溢れた版画を生み出します。その画面には、生々しい線刻の跡が残されており、一心不乱に版木を彫る姿は棟方のイメージとして広く知れ渡っています。棟方とは対照的に、清宮は、自己の内奥をすくい上げたかのような幽き世界を画上にうつしとりました。また、複製可能な版画でありながら1度の摺りに精魂を傾け、1点ものに近い版画を生み出した点も特筆すべきでしょう。同じ技法でありながら異なるアプローチを試み、新たな版画の境地を切り拓いたふたりの作品をご覧ください。版画のほか、棟方の倭画（肉筆画）や、清宮のガラス絵、油彩画、版木も展示いたします。

豊穣の世界 —— 人気を博した「棟方美人」



棟方志功《大慈妃図》1971年

イベント情報

開館記念展関連イベント

【講演会】

演題：めでたさ満載！？
～伊万里大皿の迫力に酔う～
講師：荒川正明氏（学習院大学文学部教授、霞会館記念 学習院ミュージアム館長）
日時：2月13日㊏14:00 ～ 15:30

演題：《クヴェレ美術館の棟方志功コレクションについて》（仮）
講師：石井頼子氏（棟方志功研究家、南砺市立福光美術館特別専門員）
日時：2月21日㊐14:00 ～ 15:30

【当館学芸員によるスライドトーク】

日時：3月6日㊏14:00 ～ 14:45

※会場はすべてクヴェレホール、定員50名、参加費無料、予約不要先着順

【当館学芸員によるギャラリートーク】

日時：2月27日㊎、3月21日㊏、3月31日㊋
14:00 ～ 14:30
※申込不要、要入館料

【染付大皿鑑食会】

当館収蔵の伊万里染付大皿を用いた特別メニューを、水戸で150年以上続く老舗料亭・山口楼にて期間限定でご提供します。

提供期間：2027年1月23日㊏～ 4月11日㊐
※定休日なし。
営業時間：11:00 ～ 21:00
料金：ランチ、ディナーともに1名 36,000円（税込）
予約先：山口楼　029-231-1231
2名以上から予約可。
ご利用の3日前までに要予約。
キャンセルポリシー：前日50%、当日100%

予告【染付大皿鑑食会トークイベント】

開催日：2027年2月14日㊐
本展監修者・荒川正明氏のトーク付き大皿鑑食会を、趣ある山口楼広間で開催します。詳細は決まり次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします。

※各イベントは、変更または中止する場合があります。
ご来館前に当館ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

作品はすべてクヴェレ美術館所蔵です